



MVEL に関する情報の参照先

OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

MVEL に関する情報の参照先	1
OnCommand Workflow Automation の MVEL 対応フィールド	1
MVEL 構文の例	2
条件付き実行	2
名前の増分	2
コマンドの文字列表現	2
テンプレート	3
コマンドの詳細	3
ワークフロー定数	3
パラメータを返します	3
関数の定義	4
特定の行の繰り返し	4
行の条件式	4

MVEL に関する情報の参照先

MVEL 言語ガイド _ を使用して、 MVFLEX 表現言語（ MVEL ）の詳細を確認できます。

MVEL は、 Java 構文に基づく式言語です。 MVEL 式の構文は、 OnCommand Workflow Automation （ WFA ）ワークフローの関数や変数などで使用できます。

OnCommand Workflow Automation の MVEL 対応フィールド

OnCommand Workflow Automation （ WFA ）のいくつかのフィールドは、 MVEL （ MVEL ）で有効になっています。ワークフローの設計時に、これらのフィールドで MVEL 構文を使用できます。

次の表に、 WFA インターフェイスの MVEL 構文を使用できる場合とその場所を示します。

状況	使用場所
ワークフローの作成または編集	<ul style="list-style-type: none">• MENU : ワークフロー[詳細 > 戻りパラメータ > パラメータ値]• MENU : ワークフロー[詳細 > 定数 > 値]
ワークフローでコマンドの詳細を作成または編集する	<ul style="list-style-type: none">• メニュー : コマンド [Parameters for parameter_name > Enter search criteria > Resource Selection > Finder > Parameters]• メニュー : コマンド [Parameters for parameter_name > Enter search criteria > Resource Selection > Advanced > Execute search only when the following expression evaluates to true]• メニュー : コマンド [Parameters for parameter_name > Advanced > if the following expression is true]• メニュー : コマンド [Parameters for parameter_name > Other Parameters]• メニュー : コマンド [parameter_name > Attributes]
コマンドを作成または編集する	<ul style="list-style-type: none">• メニュー : コマンド [コマンド定義_コマンド_名前_ > プロパティ > 文字列表現]
関数の作成または編集	<ul style="list-style-type: none">• メニュー : 関数 [FUNCTION_FUNCTION_NAME_ > 関数定義]

状況	使用場所
テンプレートを作成または編集する	<ul style="list-style-type: none"> メニュー:テンプレート[パラメータ for <i>parameter_name</i>>Template_template_name_>属性>値]
行の編集	<ul style="list-style-type: none"> メニュー:ワークフロー_[ワークフロー>行の繰り返し>繰り返し回数] メニュー:ワークフロー_[ワークフロー>行の繰り返し>変数>_initial_value_or_expression_の変数] メニュー:ワークフロー_[ワークフロー>行の繰り返し>繰り返し>グループ内のすべてのリソース>リソース検索条件>フィルタするパラメータ] MENU:ワークフロー[ワークフロー>条件の追加>次の式がTRUEの場合]

MVEL 構文の例

MVFLEX Expression Language (MVEL) の構文は、いくつかの OnCommand Workflow Automation (WFA) サンプルワークフローで使用されます。WFA での MVEL の使用方法については、 MVEL 構文の例を参照してください。

次のセクションでは、 WFA で使用される MVEL 構文の例を示します。

条件付き実行

次の MVEL 式は、見つかったボリュームの数が 4 未満の場合に、コマンドの条件付き実行に使用されます。

```
$NoOfVolumes < 4
```

名前の増分

次の MVEL 式は、オブジェクトの増分命名に使用されます。

```
last_volume.name+last_volume.state
```

この MVEL 式は、最後に作成されたボリューム名と、名前付け用に最後に作成されたボリュームの状態を使用します。

コマンドの文字列表現

次の MVEL 構文が文字列表現として使用されます。

```
DestinationCluster + ":" + DestinationVserver + "/" + DestinationVolume
```

テンプレート

テンプレートでは、次の MVEL 構文を使用します。

```
calculateSnapReserveSize(calculateVolumeSizeFromDataSize((int)($fs_size*1.01),$snap_space),$snap_space)
```

この MVEL 構文は、 Snapshot コピー用にリザーブされるボリューム容量の割合を計算するために使用します。

コマンドの詳細

パラメータの属性セクションでは、次の MVEL 関数を使用します。

```
actualVolumeSize($VolumeSizeInGB * 1024, volume.snapshot_reserved_percent)
```

次の MVEL 構文は、パラメーターの属性セクションで使用されます。

```
$VolumeName+'test001'
```

ワークフロー定数

ワークフロー内の定数には、次の MVEL 構文が使用されます。

```
convertNullToZero(infinite_volume.max_namespace_constituent_size_mb)
```

```
$Size_TB*1048576L
```

パラメータを返します

次の MVEL 構文を使用して、要求されたサイズを割り当てることができるかどうかを検証します。

```
size_remaining == 0 ? '' : throwException('Not sufficient space in capacity_class_aggregate or data constituent of size less than 1 TB can not be created: Total size requested='+$Size_TB+'TB+', Size remaining='+size_remaining/TB_TO_MB+'TB+', Infinite volume name='+infinite_volume.name+', Storage class='+CAPACITY_CLASS_LABEL)
```

関数の定義

次の MVEL 構文は、NULL をゼロに変換するために使用される関数定義で使用されます。

```
def convertNullToZero (data)
{
    if(data == null)
    {
        return 0;
    }
    else
    {
        return data;
    }
}
```

特定の行の繰り返し

次の MVEL 式は、ユーザー入力を使用して、LUN を作成するために行を繰り返す必要がある回数を示します。

```
$NumberOfLunsToBeCreated
```

行の条件式

次の MVEL 式は、行が実行されるかどうかを示すためにユーザー入力を使用します。

```
$SetupSnapMirror
```

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。